

野菜花き 5月下旬巡回調査結果の概要

【東北信】 巡回日 5月21日、22日、23日

1 トマト

小諸市の巡回ほ場は、定植直後であった。病害虫の発生はみられなかった。

長野市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、4段花房が着果中であった。オンシツコナジラミの発生は、5月上旬とほぼ同程度であった。病害の発生はみられなかった。

2 きゅうり

長野市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は収穫期で、うどんこ病は5月上旬よりも増加した。害虫の発生はみられなかった。

中野市のほ場（露地栽培）は生育初期で、病害虫の発生はみられなかった。

3 いちご

南牧村の巡回ほ場は収穫前であった。病害虫の発生はみられなかった。

4 キャベツ

小諸市の巡回ほ場は結球始期であり、チョウ目害虫の被害株がみられた。その他の病害虫の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は生育期（5葉期）であり、病害虫の発生はみられなかった。

軽井沢町の巡回ほ場は結球始期であり、チョウ目害虫の被害株がわずかにみられた。その他の病害虫の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は結球始期であり、コナガ、ウワバ類、その他のチョウ目害虫の被害がみられた。その他の病害虫の発生はみられなかった。

長野市の巡回ほ場は生育期（7葉期）であり、チョウ目は害虫の被害がわずかにみられた。その他の病害虫の発生はみられなかった。

5 ブロッコリー

南牧村の巡回ほ場は生育期（4葉期）であり、病害虫の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は出蕾期であり、コナガ、その他のチョウ目害虫の被害がわずかにみられた。その他の病害虫の発生はみられなかった。

6 はくさい

上田市の巡回ほ場は、未定植であった。

小諸市の巡回ほ場は結球始期であり、チョウ目害虫の被害がみられた。その他の病害虫の発生はみられなかった。

小海町の巡回ほ場は生育期（10葉期）であり、チョウ目害虫の被害がわずかにみられた。その他の病害虫の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は生育期（7葉期）であり、病害虫の発生はみられなかった。

7 レタス

上田市の巡回ほ場は生育期（5～6葉期）であり病害虫の発生はみられなかった。

小諸市、御代田町の巡回ほ場は結球始期であり、斑点細菌病の発生がみられ、発生程度は低いものの発生株率は高かった（図1）。また、すそ枯病の発生もみられた。その他の病害虫の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は結球期であり、斑点細菌病の発生がみられた。その他の病害虫の発生はみられなかった。



図1 レタス斑点細菌病（御代田町）

8 アスパラガス

小諸市、中野市、飯山市の巡回ほ場（いずれも露地栽培）及び中野市の巡回ほ場（雨よけ栽培）は収穫中であり、病害虫の発生はみられなかった。

小布施町の巡回ほ場（雨よけ栽培）は立茎中であり、アザミウマ類の寄生株率は、5月上旬の調査に比べやや高かった。

9 たまねぎ

長野市の巡回ほ場は倒伏中であり、黒斑病の発病株率が高く（図2）、べと病の発生もわずかにみられた。また、アザミウマ類の寄生が多く、葉の被害度は高かった（図3）。



図2 たまねぎ黒斑病（長野市）



図3 たまねぎのアザミウマ類（長野市）

10 ばれいしょ

小諸市の巡回ほ場は、萌芽期であった。アブラムシ類の発生がわずかにみられた。

11 きく

佐久穂町の巡回ほ場では、生育期（草丈25 cm程度）であり、ハモグリバエ類の寄生が400葉中1葉に見られた。その他の病害虫の発生はみられなかった。

【中南信】 巡回日 5月20、21、22、23日

1 トマト

南箕輪村の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では、収穫期であった。病害虫の発生はみられなかった。

松本市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では、収穫期であった。花および葉にアザミウマ類（少発生）がみられたほか、アザミウマ類による白ぶくれ症果がわずかにみられた。

安曇野市および伊那市の巡回ほ場（露地・ジュース用）では、どちらも生育初期であった。いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかった。

2 きゅうり

松本市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では、収穫期であった。花および葉にアザミウマ類（甚発生）の寄生がみられたほか、うどんこ病（少発生）の発生がみられた（図4）。

高森町の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では、開花期（着果中）であった。花および葉にアザミウマ類（少発生）の寄生がみられた。



図4 きゅうりのうどんこ病（松本市）

3 すいか

飯島町および松本市の巡回ほ場（いずれもトンネル）ではつる引き作業中であった。いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかった。

4 キャベツ

塩尻市の巡回ほ場では、結球始期であった。外葉にアザミウマ類およびアブラムシ類（いずれも少発生）の寄生がみられたほか、結球部にコナガ（少発生）の食害みられた。

朝日村の巡回ほ場では、結球始期であった。病害虫の発生はみられなかった。

茅野市の巡回ほ場では、定植直後であった。

5 ブロccoli

伊那市の巡回ほ場では、外葉形成期（6～7葉期）であった。外葉にウワバ類（少発生）の寄生がみられたほか、ヨトウ類の卵塊および若齢幼虫のコロニー（少発生）が散見された（図5）。

6 はくさい

木祖村の巡回ほ場では、外葉形成期（5～6葉期）であった。外葉にアブラムシ類（少発生）がみられたほか、調査対象ではないがキスジノミハムシ、ナガメの寄生も散見された。

朝日村の巡回ほ場では、結球期であった。病害虫の発生はみられなかった。

7 レタス

塩尻市洗馬および朝日村の巡回ほ場では、いずれも結球期であった。いずれのほ場でも外葉に斑点細菌病の痕跡がみられたが、薬剤散布等により進行は食い止められていた。

塩尻市片丘の巡回ほ場では、収穫期であった。病害虫の発生はみられなかった。

8 セルリー

松本市の巡回ほ場では収穫期であった。葉にハモグリバエ類の潜孔（少発生）がみられた（図6）。

原村の巡回ほ場では生育期（トンネル下）であった。病害虫の発生はみられなかった。

9 アスパラガス

池田町の巡回ほ場（露地）では、収穫期であった。病害虫の発生はみられなかった。

飯島町の巡回ほ場（雨除け）では、立茎が始まっており、見取り調査でアブラムシ類（少発生）がみられた。

豊丘村の巡回ほ場（雨除け）では、立茎中であった。払落し調査でアザミウマ類（少発生）がみられた。

10 たまねぎ

安曇野市の巡回ほ場では、8.5～9.0葉（収穫前）であった。アザミウマ類およびネギハモグリバエが甚発生であったほか（図7）、一部でべと病（少発生）の発生がみられた。

11 ねぎ

南箕輪村の巡回ほ場では4.0葉、豊丘村の巡回ほ場では3.0葉であった。どちらのほ場もアザミウマ類およびネギハモグリバエ（いずれも少発生）が発生していた。

山形村の巡回ほ場では3.0葉であった。病害虫の発生はみられなかった。

12 ながいも

山形村の巡回ほ場では未萌芽であった。

13 きく

富士見町の巡回ほ場では、生育期（草丈25cm程度）であった。病害虫の発生はみられなかった。



図5 ブロccoliのヨトウ類
(伊那市)



図6 セルリーのハモグリバエ類
(松本市)



図7 たまねぎのネギハモグリバエ
(安曇野市)